



## 共通テストについて知ろう



今年も、1月に実施される「大学入学共通テスト」の出願手続きが始まります。

共通テストは、大学進学を目指すすべての人にとって重要なテストです。3年生は勿論、1、2年生も、今から**基礎的な知識**を身につけておきましょう。なお、2年生から、**新学習指導要領**に対応した**入学試験**となり、受験科目や形式等が変更になります。

「大学入学共通テスト」は、2日間の日程で全国一斉に行われ、50万人以上が受験する大規模な試験で、国公立大入学試験の1次試験となります。さらに、私立大の多くが、得点を合否判定に利用する入試方式を採用しています。本校3年生では、約220人（9割）が受験予定となっています。

### ① 思考力・判断力・表現力等も重視した出題

すべて「マークシート方式」です。各教科・科目の特質に応じ、**知識・技能のみ**だけでなく、**思考力・判断力・表現力等も重視した出題**となっています。いずれの教科科目とも、過去のセンター試験と比較して、文字数、ページ数共に増加しており、かなりのスピードが要求されます。

### ② 2日間で実施

以下の表は、今年度の共通テストの時間割です。

試験日	試験教科・科目		試験時間(配点)
1日目 (1/13)	地理歴史・公民	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」 「地理A」「地理B」 「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	<b>2科目選択</b> 130分(うち解答時間 120分)(200点) 9:30～11:40 <b>1科目選択</b> 60分(100点) 10:40～11:40
	国語	『国語』	80分(200点) 13:00～14:20
	外国語	『英語』	『英語』 <b>リーディング</b> 80分(100点) <b>筆記</b> 80分(200点) 15:10～16:30 <b>リスニング</b> 60分(うち解答時間 30分)(100点) 17:10～18:10
2日目 (1/14)	理科(1)	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	<b>2科目選択</b> 60分(100点) 9:30～10:30
	数学(1)	「数学I」「数学I・数学A」	70分(100点) 11:20～12:30
	数学(2)	「数学II」「数学II・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	60分(100点) 13:50～14:50
	理科(2)	「物理」「化学」「生物」「地学」	<b>2科目選択</b> 130分(うち解答時間 120分)(200点) 15:40～17:50 <b>1科目選択</b> 60分(100点) 16:50～17:50

なお、現2年生以降が受験する年には、科目名や時間の変更に加え、新たに「情報」の教科が追加される予定です。

### ③ 志望大学が指定する教科・科目を受験する

合否判定に用いる共通テストの教科数や指定教科（科目）は大学により異なり、受験生は、志望大学が指定する教科・科目を選択して受験することになります。

国公立大学では、「5教科7科目」を受験するのが一般的です。そして、各科目の選択は、個別学力試験（2次試験）に出願する大学が指定する科目から選択します。理科については、特に注意が必要です。

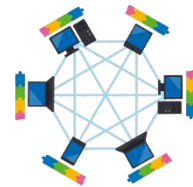
国公立大学の理系学部を志望の場合、「理科②2科目」（本校生は物理+化学または生物+化学）を、文系学部志望の場合、「理科①基礎理科の2科目」を受験するのが基本です。私立大学の「共通テスト利用方式」では、2～3教科が一般的ですが、大学により異なるので、調べておく必要があります。

### ④ 受験教科は出願時の事前登録制

受験教科は事前登録制になっており、出願時に、自分が受験する教科を予め登録します。各大学が受験を求めている教科・科目を受験していない場合、受験資格を失うことになるので注意が必要です。

### ⑤ 個別試験の出願は、自己採点による

出願時に、成績開示請求をすることは可能ですが、成績開示は次の年度になってから行われ、共通テスト直後に、自分の成績を確認することはできません。あくまで、受験直後の自己採点の結果により、国公立大の二次出願や私大出願などの個別試験の出願をすることとなります。よって、マーク式の模擬試験では、自己採点結果と、実際の点数にズレがないか、普段から意識しておく必要があります。



## 模擬試験を有効に活用しよう



全学年で、7月に実施した模試の結果が出ています。

模擬試験は、現在の自分の「実力」と、全国での「位置」を知る貴重な機会です。結果を現実として、冷静に受け止め、新たな行動への足がかりとすることが大切です。この結果の原因、現状の課題を分析し、生活の改善を意識して欲しいと思います。

特に、3年生は、9月以降、多くの模擬試験が続きます。結果が伴わない場合でも、自分を信じ、着実に努力を続け、目標達成に近づけてください。その行動力も学力の一つです。

結果では、全国偏差値、校内順位、志望校判定を見て終わりという場合が多いですが、それだけでは十分ではありません。是非、各教科の「設問別成績」、「教科バランス」に注目しましょう。

「設問別成績」については、その分野が、全国平均や同一大学志望者の平均に対してどうなのかを見てください。

「教科バランス」については、苦手教科の方が、伸び代が大きいことに注意しましょう。得意教科で、学習のペースをつかみ、苦手教科の対策を講じるというのが、学習法の一つと言えるでしょう。特に1・2年生は、英語、数学、国語のバランスを意識し、今のうちに対策しておくことが大切です。特に英語は、文型、理型を問わず、重要な教科です。英語が苦手な生徒は、至急、対応をしましょう。3年生については、理科、社会の伸びが、今後、大きくものを言ってきます。言い換えれば、英語、数学、国語は、現時点の力がベースとなるということです。それらを踏まえて、受験計画を練り直しましょう。

一般試験で合格できる力を付ける努力が大切、しかし、受験方法によって、自分に有利な方法があるなら、柔軟に考えていくことが必要で、時期や状況によって、優先順位は変わってきます。

## 看護出前講座実施

7月21日（金）12:50～14:20 本校視聴覚室において、3年の看護系の進路希望者対象に、総合南東北病院看護師長の佐藤裕子先生をお招きし、「看護師って、どんな仕事？」というテーマで御講演いただきました。

21名が参加し、脈を測ったり、聴診器等に触れる中で、看護師という仕事の現実を知り、また、その決意を新たにしました。生徒の感想にも、その姿が現れていました。

